

8-4-38 品質委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

会員企業の品質確保・向上に資する活動を所掌する委員会として、設計エラーの実態把握、エラー防止に向けた品質確保・向上策の提案、会員企業の意識啓発、発注者への改善要望等を主な活動目的としている。

(2) エラー事例収集とデータベース化

照査特別 WG では平成 12 年度から設計エラーの事例を収集しており、令和 2 年度までに 9 分野で 2,002 事例が集まっている。これらのエラー事例を検索できるデータベースを構築し、会員企業が利活用できるシステムの検討を行った。

(3) 品質確保向上策の実態調査

国土省が推進している下記の品質確保向上施策の実施状況を会員企業へのアンケートにより調査するとともに、問題点・課題を整理した。

- ①-1 詳細設計照査要領
- ②-2 赤黄チェック
- ③-3 照査技術者による照査報告
- ④ 業務スケジュール管理表
- ⑤ ワンデーレスポンス
- ⑥ 条件明示チェックシート
- ⑦ 合同現地調査
- ⑧ 3 者会議

(4) 品質確保向上策の改善検討

エラー事例から整理したエラーの発生要因と各種品質確保向上策の関係を整理するとともに、品質確保向上策の実効性を高めるための改善策を検討した。

(5) 品質向上推進ガイドライン (GL) の改訂検討

平成 23 年 7 月に発行された品質向上推進 GL は、会員企業の品質確保向上のための基本的な方向性が示され、一定の役割は果たしてきたが、未だに軽微な設計エラーのみならず、重大エラーが発生している。GL 作成以降の活動成果や昨今の ICT 技術の進展を踏まえ、今後の品質確保向上に向けた GL 改定案を作成した。

(6) 会員企業の意識啓発

品質セミナーや品質講習会を WEB で開催し、会員企業の品質確保向上に対する意識向上を図った。

品質セミナー参加者は昨年度と比較すると協会会員等は 1,036 名増、発注者団体は 33 名増、全体で 1,069 名増の 2,339 名と大幅に増加し、内容および説明に関して高い評価を得た。

品質セミナー講義内容

プログラム	
序	セミナー概要説明
第 1 講	技術継承のあれこれ ～やってみせ、言って聞かせて、 させてみて～
第 2 講	エラー防止
第 3 講	のために
第 4 講	
第 5 講	
第 6 講	
第 7 講	

(7) 発注者への要望と提案

上記活動成果については常任委員会、技術部会、未来塾対応 WG で審議・報告するとともに、令和 2 年度「要望と提案」や未来塾協議資料に反映している。

2. 次年度の活動

今年度と同様に品質セミナーおよび品質講習会の WEB 開催を企画する。

また、品質確保策の改善提案を継続するとともに、品質向上推進 GL の改訂版を完成させ、会員企業に周知する。

(品質委員会委員長 中嶋 規行)